

氏名(本籍)	高柳 百合子 (茨城県)				
学位の種類	博士(工学)				
学位記番号	博 甲 第 6849 号				
学位授与年月日	平成26年 3月25日				
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当				
審査研究科	システム情報工学研究科				
学位論文題目	小学児童を地域で見守る生活街路の空間計画に関する研究				
主査	筑波大学	教授	学術博士	大澤	義明
副査	筑波大学	教授	工学博士	石田	東生
副査	筑波大学	教授	工学博士	谷口	守
副査	筑波大学	教授	Ph. D. in Regional Science	有田	智一
副査	筑波大学	准教授	博士(工学)	谷口	綾子

論文の要旨

本研究は、日本の小学児童の健全な育成のため、児童が平日放課後の明るい時間帯に、自宅周辺の住宅地を移動することについて、保護者が防犯上の観点から安心して外出を許容することができるような街路空間の条件を明らかにし、その計画的な配置に言及することを目的としている。まず、第2章では関連する内外の既往研究の整理を通じ、不安の解消ではなく積極的に安心を創出することの必要性を提示している。次に第3章では、実態調査として実際の小学校区の保護者を対象に、街路環境と児童の外出に関する保護者の心理状況の関連性について重回帰分析を通じて明らかにしている。また、第4章では、VR(仮想現実)画像を用いたウォークスルー実験により、沿道店舗の種類と通行者の出で立ちが防犯安心感に強く作用することが示された。さらに、第5章において、これら得られた知見を総合化し、住宅地の街路空間の諸条件を通じ、地域生活者の見守りの有無を診断する方法を試論として提示している。

審査の要旨

【批評】

児童に対する犯罪リスクに着目した研究は多いが、本研究は安心感を創出する街路環境に初めて着目しており、その点において十分な新規性が認められる。また、アンケート調査とVR画像を活用した実験の両面から街路環境と保護者の心理の関係性について立体的に光をあてており、今後の政策展開を考える上で有用な材料を提供している。診断方法については今後の発展可能性が高く、一層の考究が進められることを期待する。

【最終試験の結果】

平成26年2月5日、システム情報工学研究科において、学位論文審査委員の全員出席のもと、著者に論文について説明を求め、関連事項につき質疑応答を行った。その結果、学位論文審査委員全員によって、合格と判定された。

【結論】

上記の学位論文審査ならびに最終試験の結果に基づき、著者は博士（工学）の学位を受けるに十分な資格を有するものと認める。